

令和4年度第2回金沢市食品ロス削減推進協議会議事要旨

◇日 時 令和4年11月14日(月) 11:00~12:00

◇場 所 第二本庁舎2階 2203会議室

◇出席者 (順不同、敬称略)

会 長 池本 良子 (金沢大学名誉教授)
青海 万里子 (NPO法人いしかわフードバンク・ネット理事)
上田 久美子 (金沢市校下婦人会連絡協議会副会長)
杉山 朋美 (北陸大学薬学部准教授)
鍋島 盛雄 (石川県飲食業生活衛生同業組合理事長)
西田 哲次 (金沢商工会議所常務理事)
鍛冶 一雄 (石川県スーパーマーケット連絡協議会代表幹事)
三国 千秋 (北陸大学名誉教授)
本 昌康 (一般社団法人石川県食品協会副会長)
橘 宏和 (市民公募)

(欠席者)

副会長 新澤 祥恵 (北陸学院大学短期大学部食物栄養学科教授)
佛田 利弘 (石川県農業法人協会会長理事)
中黒 和将 (環境にやさしい買い物推進協議会)
中村 明仁 (金沢市旅館ホテル協同組合)
一ノ谷 典子 (市民公募)

事務局 加藤 弘行 (金沢市環境局長)
山口 和俊 (金沢市環境局環境政策課長)
中西 賢治 (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室長)
中川 久美 (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室主査)
長田 麻由 (金沢市環境局環境政策課ゼロカーボンシティ推進室主任)

◇会議次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 食べきれなかった料理の持ち帰り事業について
 - (2) 次年度の事業案について
3. その他
4. 閉会

加藤局長	<p>【1. 開会】</p> <p>本日お忙しい中お集まりいただき御礼申し上げます。</p> <p>ご承知の通り金沢市は令和2年3月にゼロカーボンシティ宣言を行い、様々な課題に対して幅広く取り組みを始めているところである。ただ、基本的には各事業者の皆様のご協力をいただきながら進めていかなければならない事業が多々ある。その中でもこの食品ロスの削減という課題については、ごみの減量化や資源化と並ぶ、市民の日々の生活に直結する極めて身近な課題であろうととらえている。</p> <p>豊かな海の幸などにも恵まれており、また金沢漆器など伝統文化を育む、そのような都市の性格もある中で、長年培われた豊かな食文化を有する本市であるからこそ、食品ロス削減という現代的な課題について積極的に我々は取り組んでいかなければいけないと思っている。</p> <p>こうした対策の一つになるかと思うが、本協議会で議論いただいた、食べきれなかった料理の持ち帰りモデル事業をご協力いただく各店舗で今月から始めさせていただいたところである。</p> <p>本日はこの事業について改めてご報告をさせていただくほか、今後の予定についても提示させていただくので、忌憚のないご意見賜りたい。よろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>【2. 議事】</p> <p>それでは、議事に入る。</p> <p>(1) 外食時の食べきれなかった料理の持ち帰り事業について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>(1) 外食時の食べきれなかった料理の持ち帰り事業について</p> <p>・・・資料1に沿って説明</p>
委員	<p>今回はモデル事業で、今後本格実施につなげたい。詳細は部会で検討していくという認識で良いか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>今回利用者向けアンケートはQRコードで行うのは答えやすく良いと思う。店舗向けアンケートのフォーマットは作られているのか。</p>
事務局	<p>お店の方には、毎月持ち帰りパックの使用個数を報告いただく他、2月頃に詳細なアンケートも行う予定である。</p>
委員	<p>チラシの「食べる前にレンジでチン」という文言について。電子レンジは意外と表面までで、中心部まで温まっていないという場合がよくある。中心部までちゃんと温めること、国のガイドラインにも70℃程度で書かれていたと思う。その辺りをもう少し補足できると良い。今回は無理かもしれないが。</p>

事務局	<p><補足> 厚生労働省ホームページ「家庭での食中毒予防」より ・めやすは中心部の温度が75℃で1分以上加熱すること</p> <p>了解。</p>
委員	<p>動画を拝見させていただいた。内容がよく分かる素晴らしいものだと思う。チラシはモデル店舗だけに配布されているのか、もしくは他のところでも配布されているのか。</p>
事務局	<p>チラシはモデル店舗にお渡ししている他、当課のカウンターに置いている。</p>
委員	<p>素晴らしい内容なのでもっと広く市民の方に周知した方が良いと思う。</p>
事務局	<p>了解。</p>
委員	<p>このチラシはとても分かりやすいと思う。ガイド1でできるだけ食べ残さないように、それでも食べきれなかった場合はガイド2で持ち帰りましょうという流れで分かりやすいと思う。</p> <p>ただ、地球にやさしい生活をしましょう、ということがどこかに書いてあったらより良かったのではないかと。さいたま市の全国大会のチラシでは年間520万トンの食品が廃棄されています、と説明がある。</p> <p>持ち帰りが目的の事業になってしまうと困る。地球にやさしい環境づくりのため市民みんなで力を合わせて行う取り組みの一つに食品ロス削減がある。もう少し大きな視点の説明も入れて、市民それぞれができる範囲で行動をしていきたいと思います。みたいなストーリーがあった方が良かったのではないかと思った。チラシの第2版を作る時に考慮していただけたら良い。</p>
事務局	<p>了解。食品ロス全般の啓発用パンフレット、子供向けパンフレットも別途あるので、これらも併せて周知に力を入れていきたい。</p>
会長	<p>まだ始まったばかりなので、アンケートの結果を見てまた検討していきたい。</p>
会長	<p>次の資料に入る。 (2) 次年度の事業案について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>(2) 次年度の事業案について ・・・資料2に沿って説明</p>

委 員	<p>私は交通と環境というテーマで、自転車の事故や CO₂ 削減など自転車に関する活動を行っている。たまたま 11 月 4、5 日、同じくさいたま市で自転車の全国規模の会議があった。主に自治体職員、国県市、警察、NPO など 450 人ぐらいが全国から集まった。</p> <p>来年度の食品ロス削減全国大会の主催は金沢市だろうと思うが、農水省や環境省が既にある程度の内容を決めているのか。</p>
事 務 局	今のところ具体的な内容は決まっていない。
委 員	<p>金沢市で独自に内容を検討できるのであれば、開催に向けて深い議論ができれば良い。部会みたいなものを作ってそこで検討するという方法も良いかと思う。</p> <p>自転車の全国会議は今年で 9 回目である。そもそもこの自転車の会議は金沢市から始まった。私や国県市の関係者で、当時の山野市長に自治体職員が集まる自転車の勉強会の開催を提案した。それが各都市を回り今年はたまたまさいたま市となった。今年にはビデオで海外から講演いただき、その後オンラインでパネルディスカッションを行った。またポスター展示では 60 点程のポスターが出て、いろいろな方たちがそこで議論を行った。2 日目は分科会で観光や交通安全などのいろいろなテーマで議論した。</p> <p>来年の食品ロス削減全国大会でも、各自治体で行っている先進的な取り組み事例の発表やパネルディスカッション、場合によっては分科会のようなものを二つ三つ用意するのも良いと思う。有名人によるトークショーやクイズもいいかもしれないが、やはり食品ロスを削減するにはどうすればいいのか、ということ进行深入議論できるような場にしてほしい。来場された方が来てよかった、いろいろな事を学べた、とっていただけるようなものになってほしい。</p>
事 務 局	内容はこれから検討する。さいたま市はイベント的に楽しくやろうという主旨で企画されたのだと思う。これは一つの例としてお示しした。過去もいろいろな開催地がそれぞれ趣向を凝らして行っている。金沢市も今から国とも相談しながら内容を考えたい。
委 員	来年で何回目か。またコロナ禍なので途中で中断しているのか。
事 務 局	来年で第 7 回である。オンラインも併用して中断はしていない。
委 員	了解。ぜひ時間をかけて内容を検討して良い会議にしてほしい。
委 員	さいたま市の全国大会の 2 日目はどのようなことを行ったのか。
事 務 局	2 日目は、自治体研修会で内容は事業者の事例発表であった。
会 長	資料のさいたま市のチラシは 1 日目の事だけ書かれている。

委 員	何人ぐらい参加していたのか。
事 務 局	1日目は800人程度だと思われる。会場の収容人数が1,000人なので、一番多い時で8割ほど埋まっていたのでそれぐらいだと考えられる。2日目は自治体職員対象なので50人程度だった。オンラインで参加される自治体も多かった。
会 長	1日目は市民への意識啓発のためにイベント的なことを行っているような感じだと思う。2日目の自治体研修会は自治体だけに限定してしまうのはもったいないかと感じた。興味のある市民やNPO団体の方にも参加できる形になると良いかもしれない。 来年10月開催なので、おそらく来年春にはほぼ決まっていると思う。他に何か意見はあるか。
委 員	開催日は金沢マラソンの次の日になるのか。金沢マラソンに動員されている。
事 務 局	他のイベントの日程とも調整しないとイケない。また相談させてほしい。
委 員	今度11月22日に富山でフードバンク活動のシンポジウムがある。今回初めて県域を超えて富山、石川、福井の3県からフードバンク団体が集まることになった。せっかく金沢で開催するのであれば、エリアを広げてお声かけしても良いかもしれない。残念ながらまだ富山や福井はまだフードバンクの県域的なネットワークができていないので、フードドライブやフードバンク活動について交流できる機会があったら良い。
会 長	その他の取り組みで何かご意見はあるか。
委 員	ごみ量についてのデータ、そのうち食品ロスに関するデータは毎年市役所から公表されているのか。
事 務 局	ごみ量は毎年6月頃報告している。そのうち食品ロスがどれだけかというのは毎年集計しているわけではない。数年に1度推計している。
委 員	金沢自転車ネットワーク協議会では、市や県からは自転車の道路をどれくらい作ったのか、警察からは自転車の事故件数がどれだけか、というデータが毎年報告される。 今後のあり方として、この食品ロス協議会もやっています、やりますというだけではなく、取り組んだ結果をデータできちんと報告してそれを基に今後どうするか検討していくべきだと思う。 その次に、事業者、市民、行政が一体となって、金沢市の食品ロスをい

	<p>かに減らしていくかということをお互いに意見を出し合って検討するべきだと思う。もしアイデアがなければ他都市の取り組みを調査して、金沢市でもできるかどうか検討しても良い。</p> <p>要するにどうしたら食品ロスを減らせるだろうかという事をもう少し深く議論できるような場が来年欲しい。</p>
委員	<p>スーパーマーケットの立場から言うと、食品ロスは利益に直結するので、できるだけ出したくない。出したくないけれども、ゼロというのは有り得ない話なので、できるだけ少なくしようと思っている。</p> <p>例えば、お肉は賞味期限が切れる前にお惣菜にする。あとは最近冷凍の技術が非常に発達しているので、ブロックのお肉を冷凍にして販売したり、真空パックを利用したりして、少しでも賞味期限を延ばす工夫をしている。ただしお惣菜にすると、1日か2日で廃棄しなければいけないのでコストがかかる。また21時まで営業しているので、20時半ごろ来店されたお客様に対して、全く売り場に商品がないわけにいかない。そうすると売れ残る。その辺りの商品の数の調整に非常に悩んでいる。</p> <p>食品ロス削減はスーパーマーケット業界では、一番の課題だと思っている。</p>
事務局	<p>外食の際の持ち帰りのモデル事業は、この協議会の部会で意見を出していただいて事業化できた。協議会の全体会は人数も多くて、意見交換もなかなかしにくいと思うので、それぞれ何かテーマを出して部会みたいな形で議論していくのが良いと思う。例えばスーパーマーケットに関する事であれば市民や事業者の方も入れて小売をテーマに部会を開くなど。そのような形でうまく本協議会を運営できたらと思っている。</p>
委員	<p>自分はこの協議会ができる前に、青海委員らと一緒に約15年間ごみの減量について活動してきた。当時はいろいろな自治体へ視察に行った。名古屋市ではスーパーと新聞社がタイアップして新聞紙など紙ごみを回収していた。それを金沢でも実施しようということでボランティアから始めて、今では市内いくつかのスーパーで紙ごみの回収が行われている。</p> <p>このように何人かでチームを組んで、他都市の優れた取り組みを学び、皆さんに事例として紹介してはどうか。他都市から学ぶという部会を作るのであれば、私はぜひやりたい。事例について学ぶことはまず必要だと思う。</p>
会長	<p>先月さいたま市で行われた全国大会に行かれて何か印象に残ったことはあるか。</p>
事務局	<p>展示会場では学生がたくさん発表されていて良い印象であった。またスイーツの専門学校の先生の事例発表では、規格外の野菜を使ったスイーツの製造、販売の授業が発表されていた。先生は「未来のパティシエを育てるにあたって、経営の視点から食品ロスは避けては通れない課題である。</p>

<p>会 委 員</p>	<p>食品ロスの授業を行いたい旨をさいたま市に相談したところ、規格外の野菜が出る農家を紹介していただいた」とのことであった。金沢市も専門学校など学生が多い街なので、学生を巻き込んだ取り組みができれば良いと個人的に感じた。</p> <p>長 おそらく市内の学校でも、食品ロスを教育として取り入れていると思うが、その辺りの情報があまり市に集まっていないだけかと思う。今後、その辺りの情報を収集できれば良いと思う。</p> <p>員 学校ごとにいろいろな取り組みが行われている。例えば金沢大学の学生の「わこえこ」さんは、中央市場で廃棄されてしまう野菜でポタージュを作ったりされている。ごみ減量推進課ではエコ・スイーツレシピコンテストを実施していて、実際にお菓子を試作しているのは北陸学院大学の学生たちである。</p> <p>来年度の事業で申し上げる。私は別の団体で消費者教育にも携わっており、最近、地域や学校から食品ロスをテーマにした出前講座の要請が多くきている。この出前講座はダイバーシティ人権推進課の所管である。先ほどの事務局の説明で食品ロス削減全国大会は、環境省、消費者庁、農林水産省と一緒に取り組んでいる、とお聞きした。金沢市役所の中でも、ぜひ横断的にそれぞれの取り組みを一緒に行っていただけたらと思う。今度訪問する大徳中学校では、私はクラスごとに考えた食品ロス削減のプランに対してコメントをすることになっている。ぜひそうした地域や学校への出前講座をもう少し充実できるような体制をとっていただければありがたい。</p>
<p>会 委 員</p>	<p>長 それも良いと思う。もう少し窓口の活発化、講師の充実化があると良い。</p> <p>員 今年の自転車の全国会議の発表の中でも連携の大切さについて声が上がっていた。特に日本の行政は縦割りである。今の時代自分の分野を超えて、他のところと連携するのがなかなか難しい。</p> <p>例えば、小学校の夏休みの自由研究では、必ずごみの問題や食品ロスについての発表がある。子供たちが一生懸命調べている。でもそのような子供たちの発表も学校・教育の分野で完結している。その辺りをぜひ変えていただきたい。他の部署で食品ロスに関係するようなことを行っていないか調べて、積極的に結びつけていくということも大事かと思う。</p> <p>そのような姿勢がないと環境政策課だけではどうしても限界がある。なかなか課としては一生懸命行っているつもりでもなかなか広がらない、ということになると思う。</p>
<p>会</p>	<p>長 少なくとも環境局の中での連携を密にさせていただいて、他の部局との連携もぜひやっていただければと思う。</p> <p>【3. その他】</p>

<p>会 長</p>	<p>次第に予定していた事項について、ひと通り終了したが、他にご意見やご質問はないか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>以上で会議の進行を事務局にお返しする。</p> <p>【4. 閉会】</p>
<p>事 務 局</p>	<p>長時間にわたり熱心にご協議いただき感謝申し上げます。</p> <p>以上をもって、令和4年度第2回金沢市食品ロス削減推進協議会を閉会する。</p>